

An abstract

An object

The following is provided:

Distorted swelling and collapse of a seat member covering a button face, besides the look that it be rubbed, and is prevented outbreak of a trace of a seat member due to these is preferable, it is wrapped, and it is button.

CONSTITUTION:

Male member 2 made by a synthetic resin comprising the following: Female member 1 that the synthetic resin which installed consecutively annular hanging down part 8 in five plate-shaped partial periphery is made,

For protruding portion 9 and ring-form board it is sewed, and to be able to arrive which it be outrun to open hole 6 of five plate-shaped partial middle, and it stop, and is fitted, 11, and

Seat member 4 for outer packaging was sandwiched, and it fixed, it is wrapped, in button,

It makes refrain from mating end of protruding portion 9 as opposed to open hole 6 from five plate-shaped partial faces and,

Concavity e is formed to five plate-shaped partial fronts,

Outrun plug material 12 made by a plate-shaped partial synthetic resin ranging in the surface of 5 smoothly in recess e, and it can stop, and it makes fit.

p 6826

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-24104

(43) 公開日 平成7年(1995)5月9日

(51) Int. Cl. <sup>4</sup>	識別記号	片内整理番号	P I	技術表示箇所
A 4 4 B	1/12	2119-3B		
	1/04	2119-3B		

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 実開平5-61532

(22) 出願日 平成5年(1993)10月19日

(71) 出願人 000238474

武田 裕

大阪府八尾市北木の本1丁目12番地

(72) 考案者 武田 裕

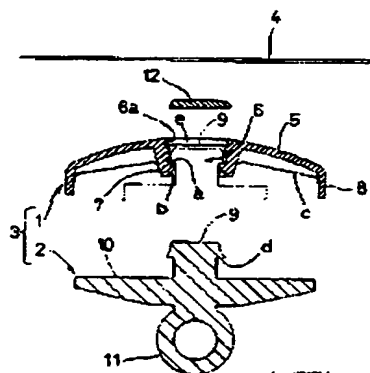
大阪府八尾市北木の本1丁目12番

(54) 【考案の名称】 くるみボタン

(57) 【要約】

【目的】 ボタン表面を覆うシート部材の歪な膨らみや凹み、更にはこれらに起因するシート部材の擦れ跡の発生が防止される見栄えの良いくるみボタンを提供する。

【構成】 皿状部分5の外周部に環状垂下部分8を連結した合成樹脂製の筒部材1と、皿状部分5中央の貫通孔6に抜け止め嵌合される突起部9と縫着用のリング状部分11とを備えた合成樹脂製の雄部材2とによって、外装用のシート部材4を挾持固定したくるみボタンにおいて、貫通孔6に対する突起部9の嵌合端を皿状部分5の表面よりも控えさせて、皿状部分5の表面側に凹部eを形成し、皿状部分5の表面に滑らかに連なる合成樹脂製の筒部材12を前記凹部eに抜け止め嵌合させてある。



- 1…筒部材
- 2…雄部材
- 4…シート部材
- 5…皿状部分
- 6…貫通孔
- 8…環状垂下部分
- 9…突起部
- 10…環状垂下部分
- 11…リング状部分
- 12…筒部材
- e…凹部

(2)

実開平7-24104

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 中央に嵌合用の貫通孔を有する皿状部分の外周部に環状の垂下部分を連設した合成樹脂製の雌部材と、前記垂下部分の内側に嵌合される板状部分の表裏に、前記貫通孔に抜け止め嵌合される突起部と縫着用のリング状部分とを連設した合成樹脂製の雄部材と、前記雌部材の表面側を覆う外装用のシート部材とから成り、かつ、前記シート部材の外周縁を前記垂下部分と板状部分とで挟持固定して成るくるみボタンであって、前記突起部の貫通孔に対する嵌合端を皿状部分の表面よりも控えさせて、突起部先端と貫通孔とによる凹部を皿状部分の表面側に形成し、この凹部に、前記皿状部分の表面に滑らかに連なる合成樹脂製の栓部材を抜け止め嵌合させてあることを特徴とするくるみボタン。

【請求項2】 中央に嵌合用の貫通孔を有する皿状部分の外周部に環状の垂下部分を連設した合成樹脂製の雌部材と、前記垂下部分の内側に嵌合される板状部分の表裏に、前記貫通孔に抜け止め嵌合される突起部と縫着用のリング状部分とを連設した合成樹脂製の雄部材と、前記雌部材の表面側を覆う外装用のシート部材とから成り、かつ、前記シート部材の外周縁を前記垂下部分と板状部分とで挟持固定して成るくるみボタンであって、前記突起部の貫通孔に対する嵌合端を皿状部分の表面よりも控えさせて、突起部先端と貫通孔とによる凹部を皿状部分の表面側に形成する一方、前記シート部材の前記凹部に対応する部位に透孔を形成し、かつ、この透孔に立体的な装飾品を連設した合成樹脂製の栓部材を挿通させて、この栓部材を前記凹部に抜け止め嵌合させてあることを特徴とするくるみボタン。

【請求項3】 中央に嵌合用の貫通孔を有する皿状部分の外周部に環状の垂下部分を連設した合成樹脂製の雌部材と、前記垂下部分の内側に嵌合される板状部分の表裏に、前記貫通孔に抜け止め嵌合される突起部と縫着用の

2

\*に、前記貫通孔に抜け止め嵌合される突起部と縫着用のリング状部分とを連設した合成樹脂製の雄部材と、前記雌部材の表面側を覆う外装用のシート部材とから成り、かつ、前記シート部材の外周縁を前記垂下部分と板状部分とで挟持固定して成るくるみボタンであって、前記突起部の貫通孔に対する嵌合端を皿状部分の表面よりも控えさせて、突起部先端と貫通孔とによる凹部を皿状部分の表面側に形成する一方、前記シート部材の前記凹部に対応する部位に透孔を形成し、かつ、前記皿状部分とによって前記透孔まわりのシート部材を挟持させる状態にて、前記凹部に立体的な装飾品を連設した合成樹脂製の栓部材を抜け止め嵌合させてあることを特徴とするくるみボタン。

【図面の簡単な説明】

【図1】 衣服に縫い着けたくるみボタンの概略斜視図である。

【図2】 第1の考案によるくるみボタンの縦断側面図である。

【図3】 第1の考案によるくるみボタンの分解断面図である。

【図4】 雌雄の部材と栓部材の斜視図である。

【図5】 第2の考案によるくるみボタンの縦断側面図である。

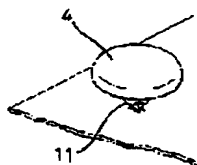
【図6】 第3の考案によるくるみボタンの縦断側面図である。

【図7】 従来例の要部の断面斜視図である。

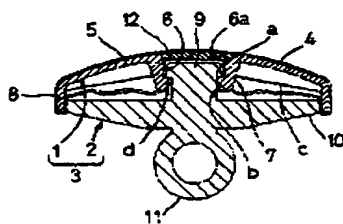
【符号の説明】

1…雌部材、2…雄部材、4…シート部材、5…皿状部分、5…貫通孔、8…垂下部分、9…突起部、10…板状部分、11…リング状部分、12…栓部材、13…透孔、e…凹部、f…立体的な装飾品。

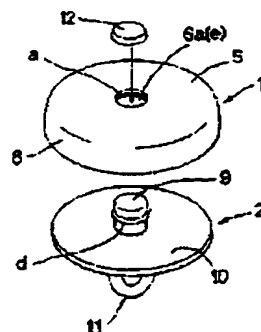
【図1】



【図2】



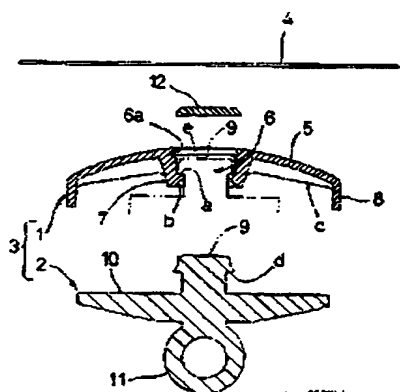
【図4】



(3)

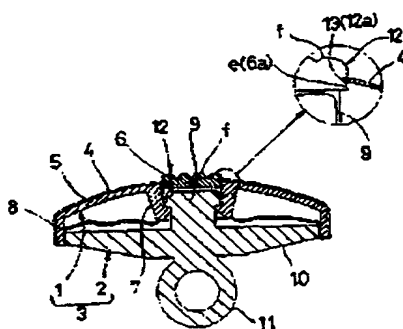
実開平7-24104

【図3】



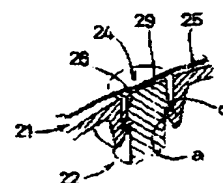
- 1—輪状部材
- 2—シート部材
- 4—シート部材
- 5—曲げ部分
- 6—取付孔
- 8—座下部分
- 9—突起部
- 10—板状部分
- 11—リング状部分
- 12—輪状部材
- 13—取付孔
- e—突起部
- f—突起部

【図5】

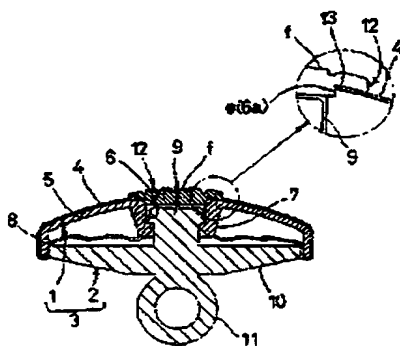


- 1—輪状部材
- 2—シート部材
- 4—シート部材
- 12—輪状部材
- 13—取付孔
- e—突起部
- f—突起部

【図7】



【図6】



(4)

英開平7-24104

## 【考案の詳細な説明】

【0001】

## 【産業上の利用分野】

本考案は、ボタン本体の表面側を外装用のシート部材で覆った所謂くるみボタンの改良技術に関するものである。

【0002】

## 【従来の技術】

この種のくるみボタンとして、中央に嵌合用の貫通孔を有する皿状部分の外周部に環状の垂下部分を連設した合成樹脂製の雌部材と、前記垂下部分の内側に嵌合される板状部分の表裏に、貫通孔に抜け止め嵌合される突起部と衣服への縫着用のリング状部分とを連設した合成樹脂製の雄部材と、前記雌部材の表面側を覆う外装用のシート部材とから成り、かつ、前記シート部材の外周縁を前記垂下部分と板状部分とで挟持固定して成るものが知られている。

【0003】

かゝる構成によれば、雌部材ならびに雄部材を共に合成樹脂製としていることで、それまでの金属製のものに比べて、錆が発生したり、その錆がシート部材の表面側に浮き出して見苦しくなったり、更には錆によって衣服自体が汚れると言った不都合が解消される利点がある。

【0004】

## 【考案が解決しようとする課題】

ところが図7に示すように、雄部材22の突起部29を雌部材21の貫通孔26に抜け止め嵌合させた状態で、その突起部29の嵌合端を雌部材21の皿状部分25の表面に滑らかに連ねさせることは至難であった。

【0005】

即ち、突起部29を抜け止め状態で貫通孔26に嵌合させる上で、貫通孔26の内部に抜け止め片aを形成すると共に、この抜け止め片aに係止する係止片dを突起部29に形成して、この両片a、dを互いに係止させるようにし、かつこの際、雄部材22の板状部分（図示しないが、図2に符号10で示す部材である。）をやゝ弾性変形させて、これを雄部材22の皿状部分25に連設した環状の

(5)

実開平7-24104

垂下部分（同じく図示しないが、図2に符号8で示す部材である。）の内側に嵌合させるようにして、この板状部分の所謂スプリングバックによって両片a、dを付勢係止させるようにしているが、この構成をとって突起部29の嵌合端を雌部材21の皿状部分25の表面に滑らかに連ねさせることは、技術的に極めて困難であった。

## 【0006】

更には、雌雄の部材21、22の成形誤差や、両部材21、22によって挟持するシート部材24の厚みによっても、突起部29の嵌合端が皿状部分25の表面から突出したり或いは凹入したりする。

## 【0007】

このように、突起部29の嵌合端を雌部材21の皿状部分25の表面に滑らかに連ねさせ得ないために、雌部材21の表面側を覆う外装用シート部材24が皿状部分25の中央部で歪に膨らんだり、或いは凹んだように見えたりし、更には、シート部材24の表面が突起部29まわりのエッジや貫通孔26まわりのエッジで擦れて、シート部材24の表面に擦れ跡が浮き上がるようになり、見栄えをや、損なう点で改善の余地があった。

## 【0008】

一方、これまでのくるみボタンのデザイン性は、雌部材の表面側を覆う外装用シート部材の色合いや柄だけに頼る平面的なものであって、衣服のファッション性を高める上から、くるみボタンに立体の装飾品を施すことが要望されつつあり、而して、シート部材の表面側に予め立体の装飾品を縫着して、このシート部材を雌雄の部材間に挟持させる試みが成されたのである。

## 【0009】

しかし、立体の装飾品をシート部材に縫着するには手間がか、ってコストアップとなる上に、この立体装飾品を雌部材の中央に位置させるように、シート部材を両部材によって挟持固定させることは極めて困難であって、見栄えが悪いことから却ってファッション性を損なうことになり、更に、糸切れによって立体装飾品が外れると、これを縫着することが困難であることから、くるみボタンの全てを取り替えざるを得なくなる問題があったのである。

(6)

実開平7-24104

## 【0010】

本考案は、上記の不都合が解消された見栄えの良いくるみボタンを提供せんことを目的としている。

## 【0011】

## 【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために本考案は、合成樹脂製の上記した雌部材の垂下部分と雄部材の板状部分とによって、雌部材の表面側を覆う外装用のシート部材を挟持固定するようにしたくるみボタンを対象にして、このくるみボタンに対して次のように技術的手段を講じた点に特徴がある。

## 【0012】

即ち、第1の考案では、上記したくるみボタンにおいて、前記突起部の貫通孔に対する嵌合端を皿状部分の表面よりも控えさせて、突起部先端と貫通孔とによる凹部を皿状部分の表面側に形成し、この凹部に、前記皿状部分の表面に滑らかに連なる合成樹脂製の栓部材を抜け止め嵌合させた点に特徴がある。

## 【0013】

第2の考案では、第1の考案と同様に、皿状部分の表面側に凹部を形成する一方、シート部材の前記凹部に対応する部位に透孔を形成し、かつ、この透孔に立体の装飾品を連設した合成樹脂製の栓部材を挿通させて、この栓部材を前記凹部に抜け止め嵌合させた点に特徴がある。

## 【0014】

第3の考案では、同じく皿状部分の表面側に凹部を形成する一方、シート部材の前記凹部に対応する部位に透孔を形成し、かつ、前記皿状部分とによって前記透孔まわりのシート部材を挟持させる状態で、前記凹部に立体の装飾品を連設した合成樹脂製の栓部材を抜け止め嵌合させた点に特徴がある。

## 【0015】

## 【作用】

第1考案の特徴的構成によれば、皿状部分の表面側に形成した凹部に、皿状部分の表面に滑らかに連なる栓部材を抜け止め嵌合させることで、くるみボタン中央部でのシート部材の膨らみや凹み、更にはこれらに起因するシート部材の擦れ

(7)

実開平7-24104

跡の発生が防止され、くるみボタンの見栄えが良くなる。

【0016】

第2考案の特徴的構成によれば、立体の装飾品を連設した栓部材を、皿状部分の表面側に形成した凹部に抜け止め嵌合させることで、縫着の手間を要することなく、雌部材の中央部に立体装飾品を位置させることができ、くるみボタンが豪華で見栄えの良いものとなる。

【0017】

第3考案の特徴的構成によれば、縫着の手間を要することなく、雌部材の中央部に立体装飾品を位置させることができることに加えて、この栓部材まわりのシート部材が栓部材と皿状部分とによって挟持されて、皿状部分表面からのシート部材の浮き上がりが防止されるので、くるみボタンの見栄えが一層良くなる。

【0018】

【実施例】

以下、本考案の実施例を図面に基づいて説明する。図1～図3は第1の考案に係るくるみボタンを示し、このくるみボタンは、合成樹脂製の雌雄の部材1、2によるボタン本体3と、前記雌部材1の表面側を覆う外装用のシート部材（多くは布であるが、樹脂シートや皮なども適宜選択される。）4とによって構成されている。

【0019】

この内の雌部材1は、図4にも示すように、表面がなだらかな曲面に形成された皿状部分5と、この皿状部分5の中央で開口した円形の嵌合用貫通孔6を有する筒状部分7と、皿状部分5の外周部に垂下した環状の垂下部分8とを備え、合成樹脂材によって一体成形されている。

【0020】

そして、前記貫通孔6の内、前記皿状部分5側の開口部分は奥拉がり部6aに形成され、これとは反対側の貫通孔6内部には抜け止め片aが連設され、更に、前記貫通孔6の下端面はガイド用の斜面bに形成されている。

尚、前記皿状部分5の内面側には、前記筒状部分7を中心にして放射状の補強リブcが設けられている。



(8)

実開平7-24104

## 【0021】

一方、雄部材2は、前記貫通孔6に挿入される嵌合用突起部9と、前記環状垂下部分8の内側に弾性的に嵌合する円形の板状部分10と、この板状部分10の裏面に突出した縫着用のリング状部分11とを備え、合成樹脂材によって一体成形されている。

## 【0022】

そして、前記板状部分10を垂下部分8の内側に嵌合させた状態で、前記貫通孔6の抜け止め片aに係止する係止片dを突起部9に設けると共に、この両片a、cの係止下において、前記貫通孔6に対する突起部9の嵌合端を奥拉がり凹部6aよりもやや控えさせるように寸法設定して、この突起部9の先端と前記奥拉がり部6aとによって皿状部分5の表面側に奥拉がりの凹部eを形成し、かつ、外表面が皿状部分5の表面に滑らかに連なる合成樹脂製の栓部材12を、前記凹部eの開口部まわりを弾性変形させる状態で、前記奥拉がりの凹部eに弾性的に抜け止め嵌合させている。

## 【0023】

尚、前記縫着用リング状部分11の形状を円形としているが、衣服の裏側に挿通して縫い着ける場合は、衣服を貫通しやすいように先の尖った形状にすることが望ましい。

## 【0024】

外装用のシート部材4は、前記雌部材1の皿状部分5と環状の垂下部分8の表面を覆うように配置されるもので、このシート部材4の配置は次のようにして行われる。

## 【0025】

即ち、皿状部分5表面側の凹部eに栓部材12を抜け止め嵌合させた状態で、この皿状部分5の表面側にシート部材4をあてがって、このシート部材4の外周縁を皿状部分5の裏面側に回り込ませ、この状態で雄部材2の突起部9を雌部材1の貫通孔6に抜け止め嵌合させると共に、これと同時に雄部材2の板状部材8を雌部材1の環状垂下部分8の内側に嵌め込んで、この外装用シート部材4の外周縁を、前記雌部材1の環状垂下部分8と前記雄部材2の板状部分10とで挟持

(9)

実開平7-24104

させる配置形態がとられるのである。

【0026】

つまり、シート部材4の厚さ分、環状垂下部分8または板状部分10が弾性変形し、これらとの摩擦力によってシート部材4が挾持固定されるのであり、この際、シート部材4の外周縁が板状部分10によって引っ張られることで、当該シート部材4は緊張状態で皿状部分5の表面側に密接されることになる。

【0027】

そしてこのとき、皿状部分5の表面に滑らかに連ねるようにして、当該皿状部分5の表面側の凹部eに栓部材12を設けているので、この栓部材12や凹部eのために、シート部材4がボタン本体3の中央部で膨らんで見えたり或いは凹んだように見えたりすることがなく、勿論、凹部eや栓部材12のエッジによる擦れ跡がシート部材4の表面に浮き上がることもなく、而して、見栄えの良いくるみボタンを得ることができるのである。

【0028】

尚、前記垂下部分8の端面または板状部分10の外周部にスパイク（小突起）を設けることが好ましく、このように構成すればシート部材4の滑り止めが確実に達成される利点がある。

また、雌雄の部材1、2材料樹脂の硬さによっては、嵌合用突起部9の先端側に割溝を形成して、前記突起部9の貫通孔6に対する抜け止めの弾性嵌合を円滑に行わせるようにすることが望ましい。

【0029】

図5は第2の考案に係るくるみボタンを示している。このくるみボタンは、上記した第1の考案に係るくるみボタンに対して次の点で構成的に異なるものである。

【0030】

即ち、第1考案によるくるみボタンは、雌部材1の皿状部分5の全表面を外装用のシート部材4で覆っているのに対して、この第2考案によるくるみボタンにおいては、前記シート部材4に対してその前記凹部eに対応する部位に透孔13を形成し、必要に応じてその透孔13まわりの縁を裏面側に巻き込んで、該部

(10)

実開平7-24104

をかき蓋いをする一方、合成樹脂製の栓部材12の表面側に立体の装飾品fを一体に連設し、かつ、この装飾品fの所定箇所に前記透孔13への嵌入部12aを形成している。

## 【0031】

そして、前記嵌入部12aを透孔13に挿通させた栓部材12を皿状部分5の凹部eに抜け止め嵌合させ、しかる後に、上記した作業手順によって、この外装用シート部材4の外周縁を、前記雌部材1の環状垂下部分8と前記雄部材2の板状部分10とで挟持させている点で構成的に異なるものである。

## 【0032】

かゝる構成によれば、前記凹部eに対する栓部材12の嵌合部がシート部材4によって見栄え良く覆われると共に、立体装飾品fを雌部材1の中央に位置させることが、接着の手間をかけることなく従って糸切れの心配を伴わせないで簡易に達成されるもので、豪華な見栄えがする立体装飾品f付きのくるみボタンをコスト的に安価に得ることができる。

## 【0033】

図6は第3の考案に係るくるみボタンを示している。このくるみボタンは、上記した第2の考案に係るくるみボタンに対して次の点で構成的に異なるものである。

## 【0034】

即ち、この第3の考案によるくるみボタンにおいては、立体の装飾品fを連設した合成樹脂製の栓部材12を、シート部材4に形成した透孔13に挿通させると共に、この栓部材12を皿状部分5の凹部eに抜け止め嵌合させて、この栓部材12と皿状部分5とによって透孔13まわりのシート部材4を挟持させ、しかる後に、上記した作業手順によって、この外装用シート部材4の外周縁を、前記雌部材1の環状垂下部分8と前記雄部材2の板状部分10とで挟持させている点で構成的に異なるものである。

## 【0035】

かゝる構成によれば、透孔13まわりのシート部材4が栓部材12のシート挟持部分によって見栄え良く覆われると共に、立体装飾品fを雌部材1の中央に位

(11)

英開平7-24104

置させることが、縫着の手間をかけることなく簡易に達成されることに加えて、シート部材4の浮き上がりが栓部材12によって確実に防止されるので、見栄えが一層豪華な立体装飾品付きのくるみボタンをコスト的に安価に得ることができる。

## 【0036】

尚、図5、6に示す構成のくるみボタンにおいて、図2に示すものと同じ構成部材に同符号を付して、重複説明を避けることにする。

## 【0037】

## 【考案の効果】

以上説明したように本考案は、雌部材の貫通孔に対する突起部の嵌合端を皿状部分の表面よりも控えさせて、皿状部分の表面側に凹部を形成し、かつ、第1の考案においては、この凹部に、皿状部分の表面に滑らかに連なる合成樹脂製の栓部材を抜け止め嵌合させたので、この皿状部分の表面側を覆うシート部材の歪な膨らみや凹み、更にはこれらに起因するシート部材の擦れ跡の発生が防止されるようになり、見栄えの良いくるみボタンを得ることができる。

## 【0038】

第2の考案においては、立体装飾品を連設した合成樹脂製の栓部材をシート部材の透孔に挿通させて、この栓部材を上記の凹部に抜け止め嵌合させたので、凹部に対する栓部材の嵌合部がシート部材によって見栄え良く覆われると共に、立体装飾品を雌部材の中央に位置させることが、糸切れを伴う縫着の手間をかけることなく簡易に達成されるもので、豪華な見栄えがする立体装飾品付きのくるみボタンをコスト的に安価に得ることができる。

## 【0039】

第3の考案においては、立体装飾品を連設した合成樹脂製の栓部材をシート部材の透孔に挿通させて、この栓部材を上記の凹部に抜け止め嵌合させ、かつ、この際、透孔まわりのシート部材を栓部材と皿状部分とで挟持させるようにしたので、透孔まわりのシート部材が栓部材によって見栄え良く覆われると共に、立体装飾品を雌部材の中央に位置させることが、縫着の手間をかけることなく簡易に達成されることに加えて、このシート部材の浮き上がりが栓部材によって確実に

(12)

英開平7-24104

防止されるので、見栄えが一段豪華な立体装飾品付きのくるみボタンをコスト的に安価に得ることができる。